

サポート研修 講師等養成「人権・同和問題Ⅰ」

【日時】	第3回 令和3年7月5日(月)・7日(水) 9:00~17:00
【会場】	特別区職員研修所
【受講者数】	41名
【講師】	特別区職員研修所 職員 弁護士 師岡 康子 氏 (公財)東京都人権啓発センター 和田 正幸 氏 東京都総務局人権部 人権施策推進課長 同和啓発担当課長 東日本部落解放研究所 事務局長 鳥山 洋 氏
【研修内容】	<目的> 人権・同和問題の基本的知識や現状を学び、講師として同和問題をはじめとするさまざまな人権課題に対する正しい理解と知識を深める。 <内容> ① 「人権・同和問題研修」について ② 基本的人権とネット社会 ③ さまざまな人権問題 ④ 東京の人権問題及び行政の取組 ⑤ 被差別部落の歴史と解放への歩み
【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・人権差別にかかわる様々なトピック、経緯、施策の根拠等を学ぶことができました。インターネットにより、人権差別にかかわる事象の拡散が早いことや匿名性による複雑化など対応が必要であると感じました。 ・今後、管理職として職員に対する振る舞いなどの内部的な視点と、区民への対応や各種トラブル発生時の要因の分析などの外部的な視点に大いに役立つと思いました。 ・公務員の仕事は、人々の人権を守ることと、その一方で人々の権利に制約を加えるものでもあり、人権感覚を身につけることが重要となるため、本研修はとても役に立ちました。 ・映像とともに差別の実情を学ぶことができたので、現実にはどのような問題が起こっているのかわかりやすかったです。公共サービスを提供するうえで、必ず知っておかなければならないことのように感じました。